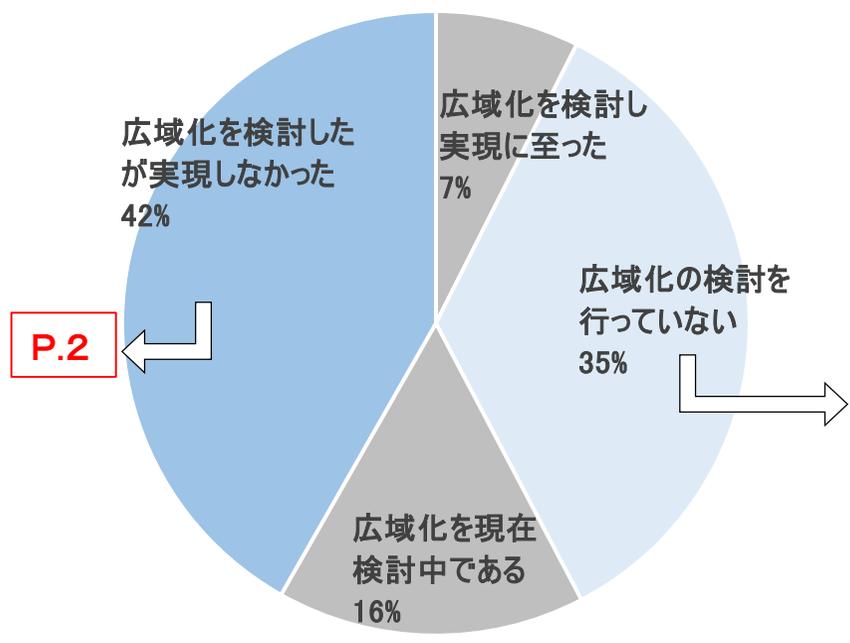


消防本部における広域化の検討状況等

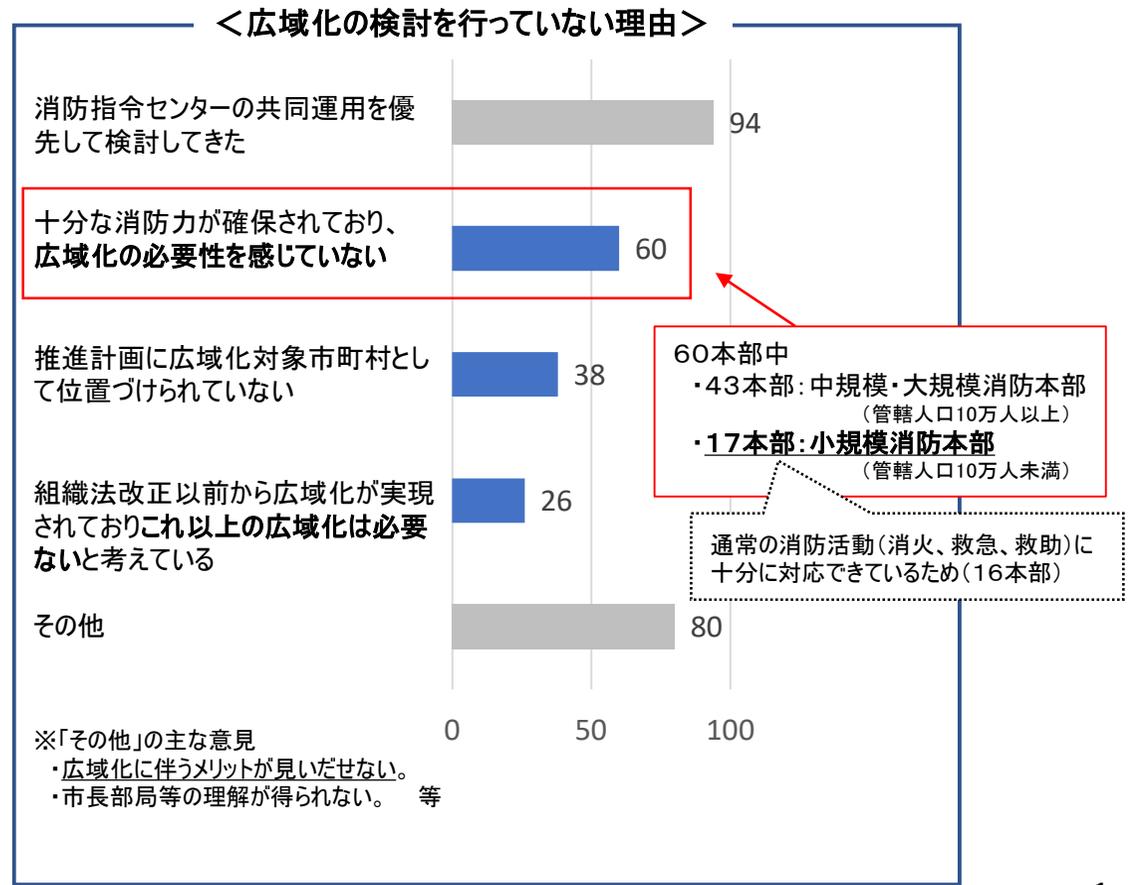
消防の広域化が検討されていない理由

- 消防の広域化の検討が行われていない理由は、連携・協力の取組を優先的に検討している等のほか、既に十分な消防力を確保しており、広域化が必要ないとの認識がある。
- ただし、「十分な消防力の確保」に当たっては、各消防本部において、平時の消防活動（火災・救急・救助）には、特段の支障を感じていないためであり、大規模災害への対応等のリスクを十分に勘案したものではない懸念がある。

平成18年消防組織法改正以降における広域化の取組状況



P.2

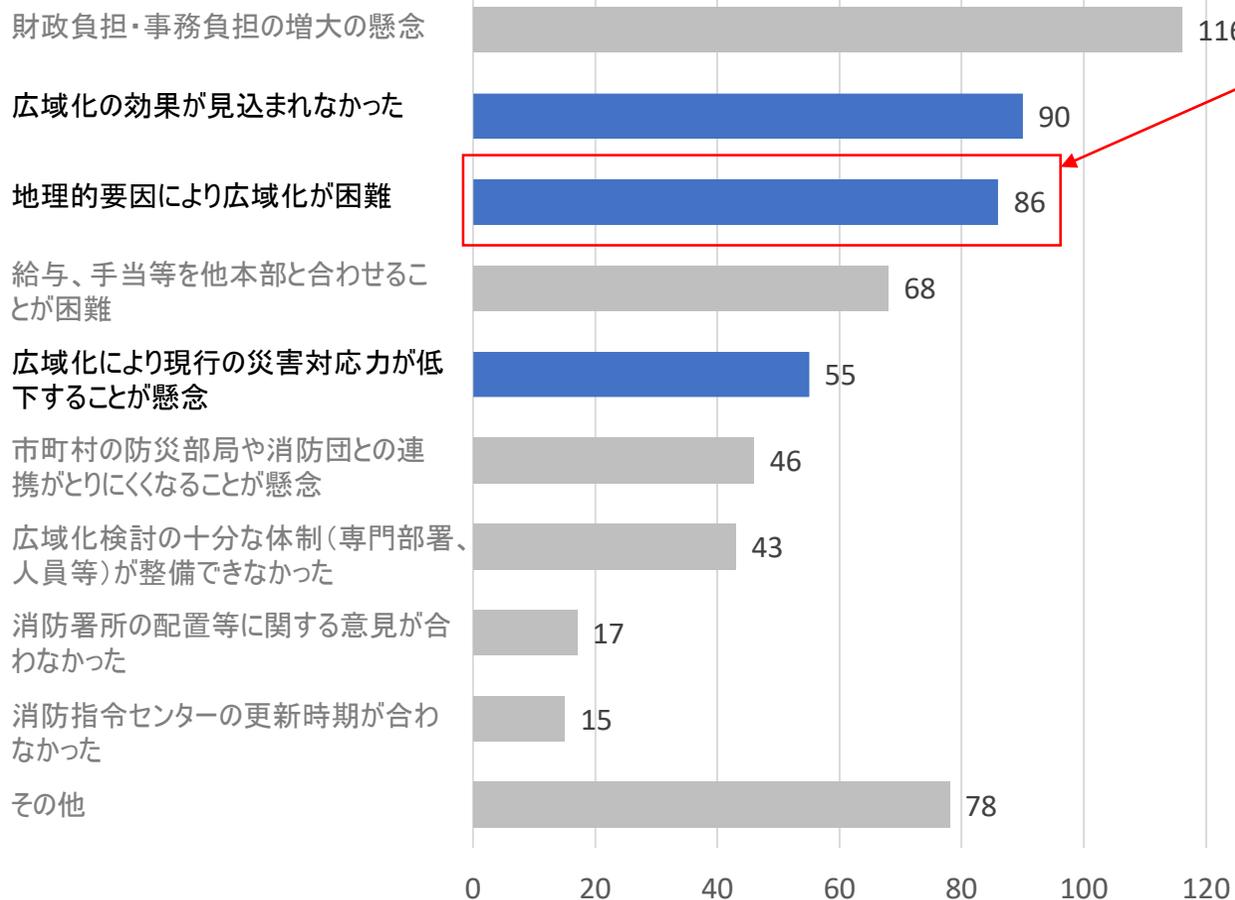


（「推進期限後の消防力の維持・強化に向けた検討に係る消防本部に対する調査※」結果）
 ※推進期限後（令和6年4月1日以降）の消防の広域化を含めた消防力の維持・強化に向けた方策について検討を行うに当たり、小規模本部の広域化等の取組状況について把握するため全消防本部（723本部）に対して実施（R4.4）

消防の広域化を検討したが実現しなかった理由

- 検討が進まなかった理由として、他消防本部との調整が困難であったこと等のほか、広域化の効果が見込まれなかったとの意見が多く見られた。
- 一方で、地理的要件によっても広域化で効果を出している例は見られ、具体的な検討を促すためにも、大規模災害といったリスクへの対応を具体化させることによって、広域化の必要性を整理することが必要ではないか。

＜広域化が実現しなかった理由＞



86本部中
 ・23本部: 中規模・大規模消防本部
 ・63本部: 小規模消防本部

管轄区域が広大であるため、広域化による効果が見込めない(33本部)

一方で、広大な面積で広域化を実施している本部も多く見られる。

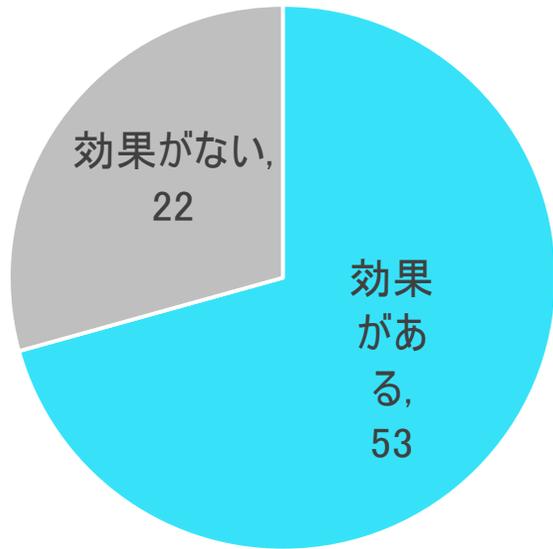
① とかち広域消防局	10828.04km ²
② 盛岡地区広域消防組合消防本部	3641.77km ²
③ 奈良県広域消防組合消防本部	3360.82km ²
④ 根室北部消防事務組合消防本部	3026.91km ²
⑤ 紋別地区消防組合消防本部	2905.07km ²
...	...
⑦ 浜松市消防本部*	1558.06km ²

*広域化していない消防本部のうち、管轄面積が最大の消防本部

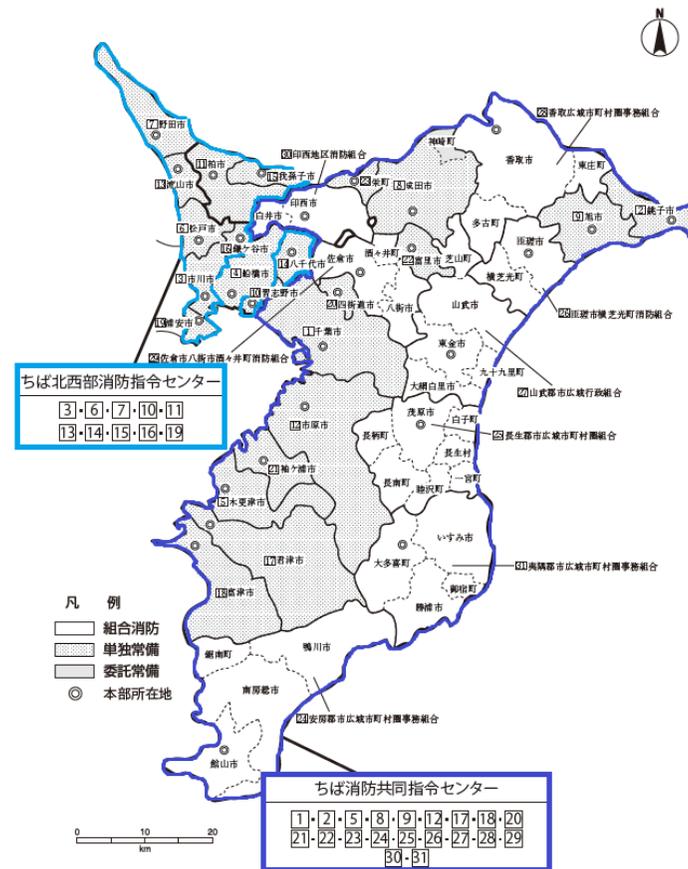
消防の連携・協力の必要性

- 地理的要因により、広域化の効果を得られないと回答した86本部についても、その約7割が連携・協力を行うことにより、消防力の確保・充実に効果がある旨回答した。
- 広域的に、また離島等を含めて、指令の共同運用が行われている実態もあり、広域化が困難と考えている本部に対して、まず連携・協力を促進することは、消防力の維持・確保に向けて、引き続き有効ではないか。

地理的要因により広域化が困難と回答した86本部に対する「問)連携・協力を行うことにより、必要な消防力の確保・充実に効果があると考えるか」についての回答



＜広域的な指令の共同運用の例：千葉県＞



＜離島を含む指令の共同運用の例：沖縄県＞

